

令和 7 年度の取組内容及び令和 8 年度の活動方針（案）

	令和 7 年度の取組内容		令和 8 年度の活動方針（案）
	主な取組内容及び課題	成果及び結果	
居宅生活 支援部会	障がい者の地域理解促進について（災害時の対応含む）	【地域理解促進・災害ワーキンググループ】 ・令和 6 年 4 月 1 日から民間事業者にも障がいのある人への合理的配慮が義務化されたことを受けて、地域理解促進のための研修資料の更新を行った。今後は、更新した資料をもとに、出前講座等において障がい者の地域理解促進を図る。 ・中学生を対象に、「みんなにとって住みやすい街を考える」をテーマにした出前講座を行った。 日 時：令和 7 年 11 月 14 日（金） 場 所：社中学校 参加者：中学 1 年生 18 名 内 容：当事者との意見交換により、障がい理解を深めることができた。 ・一般市民を対象に、「共生社会を考えるつどい」を開催した。 日 時：令和 8 年 2 月 7 日（土） 場 所：足羽福祉会 研修センター 参加者：21 名（内、居宅生活支援部会員及び事務局 10 名） 内 容：当事者インタビューやグループワークも行い、当事者の率直な思いや経験を直接聞くことができ、参加者からも多くの気づきや学びの声が聞かれた。 ・成和地区の民生児童委員協議会に対して、地域移行・地域定着部会と合同で出前講座を実施した。 日 時：令和 8 年 2 月 17 日（火） 場 所：日之出公民館 内 容：講義のみではなく、参加者への問いかけを交えるなど参加型の形式にすることで、主体的に学ぶことができた。	【地域生活支援部会】※新設（合併） ○施設入所者や精神病床の入院患者の地域生活への移行に関すること ・入所施設、精神科病院等への地域移行に関するアンケート結果の検証を行う。 ・出前講座の実施やピアサポーターの活用等により、障がい者の地域理解を促進させるための取組を行う。  ○地域生活支援の充実に関すること ・住み慣れた地域（日常的な生活範囲）での安全・安心な暮らしの継続のため、移動に関する課題の整理と検討を行う。 ・親亡き後を見据え、障がい者が自立した生活を送るための課題の整理と検討を行う。  ○地域生活支援拠点事業・日中サービス支援型共同生活援助の評価に関すること ・令和 8 年度の地域生活支援拠点事業及び日中サービス支援型共同生活援助の評価を行う。
	余暇活動の充実にについて（移動の課題含む）	【余暇支援・移動ワーキンググループ】 ・余暇支援冊子について、対象団体の選定や新たに「居場所」の視点を盛り込むなど、掲載内容の更新を行った。今後は、「福井市障がい者福祉施策の手引き」やホームページへの掲載などにより周知を行い、障がい者の余暇活動の充実に図る。 ・余暇活動を行っている団体に対して、「移動」の課題について調査を行った。 ・「福井市タクシー利用助成事業に関するアンケート調査」について、内容を精査した。	
	親亡き後の課題について	【親亡き後ワーキンググループ】 ・「福井市障がい者福祉施策の手引き」を活用しやすくするため、当事者向けフローチャートの作成や、二次元コードを添付することで、必要な情報を把握しやすくした。	

<p>地域移行・地域定着部会</p>	<p>障がい者の地域移行に向けての地域住民への理解促進及び、障がい者の地域移行に向けた意識の向上、社会貢献の機会の増進について</p>	<div><div><p>【研修グループ】</p><ul style="list-style-type: none"><li>・東足羽民生児童委員協議会の定例会で民生児童委員向けに「誰もが当たり前に暮らせる地域社会へ～支援が必要な方と地域で暮らすために～」をテーマにした出前講座を行った。</li></ul><p>〔研修内容〕</p><p>日 時：令和 7 年 6 月 12 日（木）</p><p>場 所：上文珠公民館</p><p>参加者：東足羽民生児童委員 24 名</p><p>内 容：研修前に地域包括支援センター、地区相談事業、基幹相談支援センターによる事業紹介により支援者間の連携強化を図ることができた。</p><li>・基幹相談支援センター主催の市内の精神科病棟の相談員が集まる会議（精神科長期入院患者の地域移行・定着を促進する会議）に部会員が出席し、精神疾患患者の退院支援の阻害要因などについて課題把握や意見交換を行った。</li><p>〔会議内容〕</p><p>日 時：令和 7 年 9 月 9 日（火）</p><p>場 所：福井県社会福祉センター1 階 大会議室</p><p>参加者：精神科病棟の相談員など 20 名</p><li>・第 3 回部会にてピアサポーター（当事者）が部会に参加し、体験談を伺うことで、ピアサポーターに関する知識や実情への理解を深める機会をもった。</li><li>・成和地区の民生児童委員協議会に対して、居宅生活支援部会と合同で出前講座を実施した。</li><p>日 時：令和 8 年 2 月 17 日（火）</p><p>場 所：日之出公民館</p><p>内 容：講義のみではなく、参加者への問いかけを交えるなど参加型の形式にすることで、主体的に学ぶことができた。</p></div><div><p>【アンケート・広報グループ】</p><ul style="list-style-type: none"><li>・出前講座を受講した支援者に対して、活動の中での障がい者と関わる機会があるか、支援する際の困りごとがないかなどのアンケート調査を行った。そのアンケートでは、活動の中で障がい者と関わる機会が一度もないという民生児童委員が半数を占める結果となり、地域の中で支援が必要な障がい者が見えにくい状況があることがわかった。</li><li>・入所施設・精神科医療機関向けに地域移行希望者の有無や地域移行における個別課題などをアンケート調査し、調査内容の分析に取り組んだ。</li></ul><p>〔調査先〕入所施設（5 箇所） 精神科病棟（6 箇所） 合計 11 箇所</p><li>・令和 8 年 1 月 6 日（火）にアオッサにて開催された民生児童委員の会長が集まる定例会で、居宅生活支援部会と地域移行・地域定着部会が行っている出前講座について周知活動を行った。</li></div></div>	
--------------------	---	--	--